

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名	図書館協会参画事業						事業区分	新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	020203000614	
政策体系上の位置付け							担当					
政策体系	総合計画の施策名	O202 生涯学習・芸術文化活動の推進					所属課	O90601 生涯学習課				
	政策名	O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	生涯学習G			
	施策名	O2 生涯学習・芸術文化活動の推進					グループ	生涯学習G				
	手段名	O3 ③生涯学習・文化施設の活用					担当者名					
財務会計上の位置付け							事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)					
		01	10	05	02	05	00	真壁伝承館管理事業				
法令根拠							<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入					

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<p>図書館機能の維持向上及び他図書館との連携を行うため図書館関連団体に参画し、会議・研修会等を通して図書館職員の質の向上を図る。 加盟図書館として県協会や県西地区協議会へ負担金を納入するとともに、会が企画・あつせんする研修会に参加する。</p>					<p>【茨城県図書館協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総会(5月)出席:担当者 館長会議及び研修会(4月)出席:課長(代理:担当者) 初任者研修会(6月)出席:図書館担当者 その他研修会(随時) 各種調査報告(随時)…ほとんどが県立図書館からの調査 負担金納入(7月) <p>【県西地区図書館奉仕研究協議会】…役員割当:監事R4~5</p> <ul style="list-style-type: none"> 総会(5月)出席:課長、担当者※近況報告あり 視察研修会(10月、2月)担当者2名 負担金納入(7月) 				
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
図書館協会、研究協議会事業に参加・図書館事業の推進 負担金の納入		総会・研修会等への参加回数		回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
市町村図書館及び公民館館内に図書室を有する市町村		県図書館協会市町村数		団体	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00	
		県西地区図書館奉仕研究協議会参加図書館数		館	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	
		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)	
図書館及び図書室担当職員の資質の向上		参加した桜川市職員数		人	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00		
		0.00			0.00	0.00	0.00	0.00		
(3) 投入量(事業費)の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量			
投入量	事業費	内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0			
			地方債	千円	0	0	0			
			使用料・手数料	千円	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0			
			一般財源	千円	12	12	12			
			事業費計(A)	千円	12	12	12			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人						
02年度事業費 実績(千円)					03年度事業費 予算(千円)					
18 負担金補助及び交付金 12					18 負担金補助及び交付金 12					
合 計					合 計					
					12					
					12					

事務事業名	図書館協会参画事業	事務事業No.	20203000614	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 【茨城県図書館協会】 合併前はそれぞれの公民館で加入、平成27年度より桜川市の代表館として真壁図書館が協会に加盟、岩瀬・大和中央公民館は退会した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 情報交換や先進地視察による最新の情勢や優れた取り組みの把握、相互貸借をはじめとした他図書館との連携など、高水準の図書館サービスの維持につながる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・県内の図書館等と情報交換することで、よりよい図書館運営が図れる。 ・県西地区の図書館同士で交流することにより、図書館関係の最新の情報取得、研修等による図書館員の能力向上につながる。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 成果を向上させるというよりも、他図書館との交流や情報交換により、県内図書館全体の連携強化等に役立つものである。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 他の図書館との連携が取れなくなり、相互貸借等が滞るため図書館サービスの低下につながる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・県の構成団体である。(県図書館協会) ・県西地区の自治体による協議会であり現在も活発に活動していることから、統廃合の余地はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 【県協会】負担金については規約に定める館の種別により決定しているため削減できない。 【県西地区】負担金は加盟館当たり8,000円と規約に定められているため削減できない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 協会・協議会加盟団体を対象としており、市民を中心とした利用者への図書館サービスの維持につながっているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																			
(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 協会・協議会が企画する研修会等への参加により図書館職員の質の維持向上が図られている。 特にここ数年、行政専門員や新規に採用した臨時職員が初任者研修に参加することで図書館職員としての基礎的な知識を身に付ける貴重な機会となっている。																		
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上維持低下			コスト															
		削減	維持	増加															
			○	×															
		×	×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>